



平成28年4月28日

各位

上場会社名 株式会社アウトソーシング  
 代表者 代表取締役会長兼社長 土井 春彦  
 (コード番号 2427)  
 問合せ先責任者 取締役副社長経営管理本部管掌 鈴木 一彦  
 (TEL 03-3286-4888)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,000	1,150	1,000	400	22.97
今回修正予想(B)	58,000	1,150	1,000	400	22.97
増減額(B-A)	7,000	—	—	—	
増減率(%)	13.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	36,022	937	1,003	488	31.64

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110,000	5,400	5,100	2,400	137.87
今回修正予想(B)	134,000	5,400	5,100	2,400	137.87
増減額(B-A)	24,000	—	—	—	
増減率(%)	21.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	80,860	3,125	3,224	1,810	110.15

### 修正の理由

平成28年12月期第2四半期累計期間の当社グループの業績につきまして、売上高は、既存のグループ会社の業績が順調に推移しているうえ、期中にM&Aにより新規に連結されるグループ会社の業績が加算されるため、大幅に伸長し、580億円となる見通しであります。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、売上高同様に既存のグループ会社の業績は順調であることに加え、新規に取得した会社の業績も順調に増益に寄与する一方、取得した会社ののれん償却が4月以降継続して発生するとともに、会計基準の変更により前期まではのれんに計上されていた会社取得にかかるアドバイザー費用やデューデリジェンス費用等の約4億円が一括して発生しますが、これら費用は連結上での処理となるため、税金計算には加味されず、親会社株主に帰属する四半期純利益の段階まで影響を及ぼすため、当初予想を据え置きます。

なお、先日の熊本地震により国内製造系アウトソーシング事業は多少影響を受けましたが、同事業は元来、環境変化によるボラティリティが大きく、今回のような自然災害による変動リスクもある程度想定しておりました。このため、当社グループでは、製造と異なるサイクルの産業や環境変化の影響を受けにくい産業への進出を図って、これらのリスクを補完する戦略を推進しており、今回の震災による影響も上記のような製造以外の好調な産業向け事業にてカバー出来ております。

また、平成28年12月期通期の業績は、第2四半期累計期間の業績変動要因と同様に、売上高は、順調な既存のグループ業績に加え、取得した会社業績が加算されるため、大幅に伸長し、1,340億円となる見通しであります。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、同様に好調な既存会社の業績に加えて取得した会社の業績が加算される一方、のれん償却と会社取得時にかかる一時的な諸費用が発生するため、当初予想から変更ありません。

なお、来期以降は今回の取得した会社に関する一時的費用は発生しないため、これらの会社の業績が当社グループ全体の業績にも大きく寄与していくものと考えております。

注)本資料に記載しております業績予想等につきましては現時点で得られました情報に基づき算定しております。

実際の業績は今後さまざまな要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上